

基本設計	日次業務 - 会計業務	作成日	2000/08/11	5 6
機能仕様書	病名登録	更新日	_____	
		版 数	1	

・病名関連のマスタについて

(1) 傷病名マスタ

システムは、傷病名マスタ（レセ電算システム用）を提供する。このマスタは、レセプトの電子データによる請求のために、支払基金が編集し提供している。よって、ユーザーによる内容の変更や追加は一切できないが、支払基金が更新した場合は、更新後のデータをセンターで入手した後に登録が行われ、ネットワークにより変更情報が配信される。

保有する主な項目は、

- ・ 傷病名コード
- ・ 漢字名称
- ・ カナ名称
- ・ 特定疾患等対象区分
- ・ I C D 1 0
- ・ マスター種別

である。

特定疾患等対象区分は、「当該傷病名が特定疾患等指導管理料算定の対象であるか否かを表す」という内容の項目であるので、診療行為入力での指導料と病名のチェックに使用できる。

(2) 修飾語マスタ

システムは、修飾語マスタ（レセ電算システム用）を提供する。このマスタは、レセプトの電子データによる請求のために、支払基金が編集し提供している。よって、ユーザーによる内容の変更や追加は一切できない。

保有する項目（主なもの）は、

- ・ 修飾語コード
- ・ 修飾語漢字名称
- ・ 修飾語カナ名称
- ・ マスター種別

である。

修飾語コードの先頭の 1 桁により、接頭語及び接尾語の種類を表す。

実際の病名は、この修飾語と傷病名を組合せて使用される。

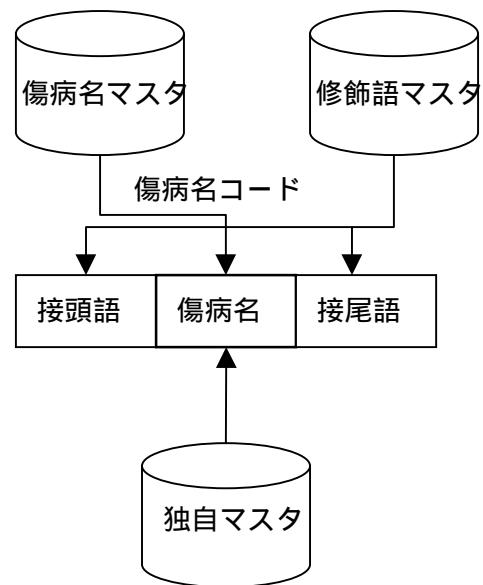
基本設計	日次業務 - 会計業務	作成日	2000/08/11	57
機能仕様書	病名登録	更新日	_____	
		版数	1	

(3) 自院独自病名マスター

各診療機関で頻繁に使用する病名について、分類毎に自由に独自病名マスターとして登録を行うことができる。また、薬剤、指導料、処置、検査などの診療行為に対する病名はマスター登録業務のチェックマスターに登録を行うことができる。

(4) マスター各マスタの関係

1つの病名は、傷病名のみを基本とし、それに接頭語や接尾語を追加して組み立てられる。
また、独自マスターより自由に登録することができる。



・病名の入力について

(1) 病名検索入力

病名の読み仮名を入力して、傷病名マスタを検索し、対象の一覧を表示しオペレータに選択入力させる。また、接頭語および接尾語については、修飾語マスタを検索し、同様に一表示し選択入力する。そのとき、病名の組立は自動的に作成する。これはどちらかといえば、登録されている病名がどの傷病名コードであるかを、確認するための機能である。

基本設計	日次業務 - 会計業務	作成日 2000/08/11	5 8
機能仕様書	病名登録	更新日 _____	
		版 数 1	

(2) 病名日本語入力

病名フィールドに、直接病名をワープロのように入力することができる。この機能により入力された場合は、システムで傷病名マスタを漢字名より検索し、一致した場合は傷病名コードを表示するが、一致しない時はワープロ入力されたことがわかるように、傷病名コードを“ 0 0 0 0 9 9 9 ”として登録をする。

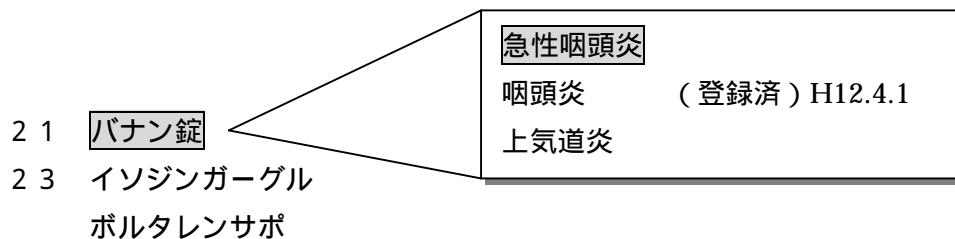
(3) 病名シート入力

各医院で頻繁に使用する病名について独自病名マスタに登録し、病名入力時に一覧表示を行い、数字 2 桁程度で簡単に入力が行える。

(4) 診療行為関連病名入力

患者に投与あるいは注射した薬剤、又は、病名と密接に関係する指導及び検査などの診療行為を一覧表示して、それらの診療行為に対応する病名の候補を一覧表示し、オペレータに選択入力させる。薬剤については、薬剤毎に医薬品マスタより検索を行い、その他の診療行為については、点数マスタより病名の候補を検索する。対象の病名が既に登録されていたら、「登録済み」の目印を表示し二重に登録されるのを防ぐ。

基本設計	日次業務 - 会計業務	作成日 2000/08/11	5 9
機能仕様書	病名登録	更新日 _____	
		版数 1	



(5) 主病名の入力

入力した病名の中から“主病名”にあたるものについて、「主病名」のサインを入力できる。

主病名は、レセプトの病名欄において先頭に表示される。

(6) 「疑い」の入力

入力した病名の中から“疑い”にあたるものについて、「疑い」のサインを入力できる。また、“疑い”の状態が、病名開始日から長く続いている場合は、オペレータにその旨のガイダンスを表示する。システムの初期値として、病名開始日より暦月で1ヵ月以上経過した場合とし、システム管理で設定できる。急性病名についても同様のチェックを行う。

レセプトの病名欄では、病名の末尾に“疑い”とついて表示される。

(7) 「特定疾患」の入力

入力した病名の中から“特定疾患”にあたるものについて、「特定疾患」のサインを入力できる。通常は、入力した病名に対応する傷病名マスタより自動的にサインが入力される。

特定疾患とは、皮膚科特定疾患または老人慢性疾患等である。

基本設計	日次業務 - 会計業務	作成日 2000/08/11	60
機能仕様書	病名登録	更新日 _____	
		版数 1	

(8) 外来入院別の入力

入力した病名の中から“外来のみ”、あるいは“入院のみ”にあたるものについて、
「外来入院別」のサインが入力できる。通常は、外来入院共通とする。

このサインが入力された病名は、該当のレセプトのみ表示される。

(9) 保険指定の入力

入力した病名の中から“ある保険のみ”にあたるものについて、「保険指定」の
サインが入力できる。

このサインが入力された病名は、該当のレセプトのみ表示される。

(10) レセプト表示指定の入力

入力した病名の中からレセプトに表示したくない場合、「レセプト表示指定」の
サインが入力できる。

(11) レセプト表示月数指定の入力

入力した病名の中からレセプトにある期間だけ表示したい場合、「レセプト表示
月数指定」のサインが入力できる。レセプトには指定した月数ほど表示され、その
後は「レセプト表示指定」のサインが自動的に入力される。

(12) 転帰の入力

入力した病名の中から「転帰」のサインが入力できる。

転帰には、

- ・ 治ゆ
- ・ 死亡
- ・ 中止
- ・ 移行

基本設計	日次業務 - 会計業務	作成日 2000/08/11	6 1
機能仕様書	病名登録	更新日 _____	
		版数 1	

がある。“死亡”については、患者の属性情報としても管理されているので、病名登録で転帰に死亡が入力されたら、患者マスタにも死亡のサインを自動的に入力する。また、逆に患者登録で死亡のサインを入力されたら登録されている病名の中でも「主病名」サインがついている病名の転帰に死亡が入力される。

レセプトの転帰事由欄では、該当する列に 印が表示される。

(1 3) 病名管理

病名に係わる日付は、開始日、終了日及び転帰日を入力できるようにし、管理する。

(1 4) カルテ病名入力

病名によっては患者の目に触れては困る場合もあるため、カルテ病名が自由に入力できる。

・ 病名の整理について

(1) 病名の振り落とし

入力された病名については、原則として振り落としはしない。しかし、たくさん病名が入力されると煩雑になるので、外部へバックアップを行った後で振り落としができるようにする。

